

こうせいかくまくかいよう

ほ行性角膜潰瘍

【ほ行性角膜潰瘍とは...】

角膜に細菌や真菌が感染して角膜が化膿する病気です。強い視力障害や異物感、痛みがあります。

【原因は？】

目をついたり、傷つけたりしたことがきっかけで細菌や真菌が感染します。最近では、コンタクトによる場合も多くなっています。

【治療】

これらの菌を殺す薬（抗生物質）を点眼や内服、静脈注射、結膜下注射などで用います。角膜の傷を治す点眼薬も使います。

【経過】

角膜の化膿したところは、治っても透明にならないで白く濁ることが多く、瞳孔の前の角膜に濁りが残ると永久に視力が低下します。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8